

教員の養成に係る教育の質の向上に係る取り組みに関すること

(1) 教職課程委員会における検討

本学の教職課程委員会の歴史は古く、旧3学部体制、家政学部・文学部・短期大学部の時代である1976年4月に設置されていた。運営規則が制定されたのは、1979年11月となっている。学部ごとに教職課程の運営責任者が置かれた責任体制の下に、大学の教職課程が運営されている。

2014年3月～2014年10月の間、教職課程委員会の中に教職支援強化のためのワーキンググループを設置し、教職をめざす学生のために大学全体あるいは学部ごとに実施している学生支援の現状と課題について分析検討を行った。教員採用試験対策や教職の実践的指導のために開設されている教育学部附置の教職サポートルームは、2013年度から教育学部以外の教職を目指す学生についても支援を拡大している。

(2) 教育委員会及び地域との連携

教育委員会と大学との協定は、愛知県日進市と名古屋市との間に協定が結ばれている。日進市については、日進キャンパスにある臨床心理相談室が、日進市の公立小中学校に通う児童生徒と保護者の相談、および教員への教育指導面接を行っている。また、大学教員（臨床心理士・精神科医）が、小中学校に特別支援のための巡回指導に出かけている。また、学校支援ボランティアとして、学部生・大学院生など数名が、市内の公立小中学校でボランティアを行っている。

名古屋市教育委員会とは、教育委員会が学生募集を行う「なごや教職インターンシップ」「トワイライトスクール事業」「名古屋土曜学習いきいきサポート」等に応募奨励・希望者の斡旋を行っている。

また、2014年度に開設した大学院教育学研究科のカリキュラムとして開設されている長期教育実習科目、教職インターンシップにおいては、教職の実践指導に関して名古屋市との包括協定のもとに、教育委員会の助言を得ながら、より高度な教師養成について質の向上への努力を行っている。

(3) 教職インターンシップ・学校ボランティア等

教育学部においては、2007年度の学部創設以来、学部の科目として教育ボランティア・福祉ボランティア・学校体験活動といった科目を開設、学生への指導を行うとともに、単位認定とは別に、教職のインターンシップとして、学校や保育・児童福祉領域へのボランティア参加を奨励している。2013年度から教育学部以外の教職を目指す学生のうち、希望者には科目の担当者が指導助言を行っているが、大学全体としての公式な学生支援体制は確立していない。

上記のように大学院教育学研究科では、既設の教育学研究科でありながら、ストレートマスターに対し、教職インターンシップ科目や教職実践研究科目を開設し、教育現場に密着した教師教育の質向上に対する努力を行っている。

表1 ボランティア科目群への登録状況

年度	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019
教育ボランティア／ 学校体験活動	120	50	59	16	55	24	59	67	65	60	60	55
福祉ボランティア	70	108	50	20	11	6	14	17	18	12	10	15
ふれあい実習Ⅱ *1	25	16	6	19	7	56	112	205	146	185	173	172
授業登録なし				167	178	192	97	371	240	185	260	229
延べ人数	215	174	115	222	251	278	282	660	455	442	503	471

*1 2012年度までは附属小学校でのボランティア活動、2013年度からボランティアの基礎を学ぶ講義

表2 ボランティア先の内訳（延べ数）

年度	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019
幼稚園 *2	97	80	67	229 (45・108)	175 (48・101)	161 (35・114)	195 (37・144)	208 (68・123)
保育園・こども園 *3	25	18	23	157(112)	95(73)	123(97)	158	278 (95・123)
子育て支援事業	15	20	9	16	26	6	61	42
小学校 *4	49(23)	69(33)	30(13)	83(48)	113(61)	108(61)	114(61)	81(36)
放課後支援事業 *5	51(44)	63(56)	62(52)	58(41)	62(56)	53(41)	68(49)	70(59)
中学校	6	2	9	7	12	19	9	8
養護学校	1	2	2	6	1	3	3	1
子どもキャンプ	78	36	57	99	82	131	28	56
その他	12	7	14	10	19	13(*8)	170	22
なごや教職インターンシップ				52(*6)	37(*7)	30(*9)	34(*10)	40(*11)

*2 ()内は名古屋市・椋山女学園大学附属幼稚園

*3 ()内は椋山女学園大学附属保育園

*4 ()内は名古屋市立小学校でのボランティア

*5 ()内は名古屋市立小学校のトリイ

*6 内訳は教育学部 47 名、生活科学部生活環境デザイン学科 2 名、現代マネジメント学部 2 名、教育学研究科 1 名。学年は 2 年生 13 名、3 年生 38 名、2 年生 1 名修士課程。

*7 内訳は教育学部 33 名、国際コミュニケーション学部国際言語コミュニケーション学科 1 名、表現文化学科 2 名、人間関係学部人間関係学科 1 名。

*8 内訳は教育学部 13 名、生活科学部管理栄養学科 1 名、人間関係学部人間関係学科 1 名、看護学部 1 名。

*9 内訳は教育学部 27 名、生活科学部生活環境デザイン学科 1 名、国際コミュニケーション学部国際言語コミュニケーション学科 1 名、表現文化学科 1 名。学年は 3 年生 30 名。

*10 内訳は教育学部 32 名、生活科学部管理栄養学科 1 名、現代マネジメント学部 1 名。学年は 3 年生 34 名。

*11 内訳は教育学部 34 名、生活科学部生活環境デザイン学科 2 名、国際コミュニケーション学部国際言語コミュニケーション学科 1 名、表現文化学科 1 名、人間関係学部心理学科 1 名、現代マネジメント学部 1 名。学年は 2 年生 5 名、3 年生 35 名。